

振り返りと導入

- [TODO]

1 具体例: 有限集合上の full support な確率分布の族

本節では、有限集合上の full support な確率分布の族について、Fisher 計量や Amari-Chentsov テンソルなどを計算してみる。

設定 1.1 (有限集合上の full support な確率分布の族). $X = \{1, \dots, n\}$ ($n \in \mathbb{Z}_{\geq 1}$) とし、

$$\mathcal{P} := \left\{ p = \sum_{i=1}^n p_i \delta^i \in \mathcal{P}(X) \mid 0 < p_i < 1 \ (i = 1, \dots, n), \sum_{i=1}^n p_i = 1 \right\} \quad (1.1)$$

とおく。ただし δ^i は 1 点 $i \in X$ での Dirac 測度である。[0425_資料.pdf](#) 例 3.1 でみたように \mathcal{P} は X 上の指数型分布族である。

まず \mathcal{P} が開であることを確かめる。

命題 1.2 (最小次元実現の構成および \mathcal{P} が開であることの確認)。

- (1) (V, T, μ) を次のように定めると、これは \mathcal{P} の最小次元実現となる:

$$V = \mathbb{R}^{n-1}, \quad (1.2)$$

$$T: X \rightarrow V, \quad k \mapsto {}^t(\delta_{1k}, \dots, \delta_{(n-1)k}), \quad (1.3)$$

$$\mu = \gamma \quad (\text{数え上げ測度}) \quad (1.4)$$

- (2) この実現の対数分配関数 $\psi: \Theta_{(V, T, \mu)} \rightarrow \mathbb{R}$ は

$$\psi(\theta) = \log \left(1 + \sum_{l=1}^{n-1} \exp \theta^l \right) \quad (1.5)$$

となる。

- (3) 写像 $P := P_{(V, T, \mu)}: \Theta_{(V, T, \mu)} \rightarrow \mathcal{P}$ は

$$\theta = (\theta^1, \dots, \theta^{n-1}) \mapsto \exp(\langle \theta, T(k) \rangle - \psi(\theta)) \cdot \gamma = \frac{1}{1 + \sum_{l=1}^{n-1} \exp \theta^l} \sum_{i=1}^{n-1} (\exp \theta^i) \delta^i \quad (1.6)$$

となる。

- (4) 次の写像 θ は P の逆写像である:

$$\theta: \mathcal{P} \rightarrow \Theta_{(V, T, \mu)}, \quad \sum_{i=1}^n p_i \delta^i \mapsto \left(\log \frac{p_i}{p_n} \right)_{i=1}^{n-1} \quad (1.7)$$

となる。

- (5) \mathcal{P} の (V, T, μ) に関する真パラメータ空間 $\Theta^{\mathcal{P}}$ は $\Theta^{\mathcal{P}} = \mathbb{R}^{n-1}$ となり、したがって \mathcal{P} は開である。

証明 Step 1: (V, T, μ) が最小次元実現であること 条件 A(3) は T の定義から明らか。条件 B の成立は $p_i = \frac{\exp \theta^i}{\lambda(\theta)}$ と表せることからわかる。

Step 2: P と θ が互いに逆写像であること [TODO]

Step 3: $\Theta^P = \mathbb{R}^{n-1}$ であること [TODO] □

以降、 \mathcal{P} には自然な多様体構造が入っているものとして扱い、 \mathcal{P} 上の自然な平坦アファイン接続を ∇ 、Fisher 計量を g とおく。また、 $\theta: \mathcal{P} \rightarrow \Theta^P$ は多様体 \mathcal{P} 上の座標とみなす。

命題 1.3 (Fisher 計量の成分). 座標 θ に関する Fisher 計量 g の成分は

$$g_{ij} = p_i \delta_{ij} - p_i p_j \quad (1.8)$$

となる。

証明 ψ の定める (V, T, μ) 上の Fisher 計量を \tilde{g} とおく。 g は定義より $g = \theta^* \tilde{g}$ をみたすから、座標 θ に関する g の成分は [TODO] □

命題 1.4 (AC テンソルの成分). 座標 θ に関する AC テンソル S の成分は

$$S_{ijk} = p_i \delta_{ij} \delta_{jk} - p_i p_k \delta_{ij} - p_i p_j \delta_{jk} - p_j p_k \delta_{ik} + 2p_i p_j p_k \quad (1.9)$$

となる。

証明 [TODO] □

以降、 $n = 3$ の場合を考える。

命題 1.5 ($n = 3$ での g, S, A の計算). 座標 θ に関し、 g の行列表示は

$$(g_{ij})_{i,j} = \begin{pmatrix} p_1 - p_1^2 & -p_1 p_2 \\ -p_2 p_1 & p_2 - p_2^2 \end{pmatrix}, \quad (g^{ij})_{i,j} = \frac{1}{p_3} \begin{pmatrix} \frac{p_3}{p_1} + 1 & 1 \\ 1 & \frac{p_3}{p_2} + 1 \end{pmatrix} \quad (1.10)$$

となる。 S の成分は

$$S_{111} = p_1 - 3p_1^2 + 2p_1^3, \quad (1.11)$$

$$S_{112} = S_{121} = S_{211} = -p_1 p_2 + 2p_1^2 p_2, \quad (1.12)$$

$$S_{122} = S_{212} = S_{221} = -p_1 p_2 + 2p_1 p_2^2, \quad (1.13)$$

$$S_{222} = p_2 - 3p_2^2 + 2p_2^3 \quad (1.14)$$

となる。 A の成分は

$$A_{11}^1 = 1 - 2p_1, \quad A_{11}^2 = 0 \quad (1.15)$$

$$A_{12}^1 = A_{21}^1 = -p_2, \quad A_{12}^2 = A_{21}^2 = -p_1 \quad (1.16)$$

$$A_{22}^1 = -p_1, \quad A_{22}^2 = 1 - 2p_2 \quad (1.17)$$

となる。

証明 [TODO]

□

命題 1.6 ($n = 3$ での測地線方程式). 各 $\alpha \in \mathbb{R}$ に対し、座標 θ に関する $\nabla^{(\alpha)}$ -測地線の方程式は

$$\ddot{\theta}^1 = \frac{1-\alpha}{2} \left((1-2p_1)\dot{\theta}^1{}^2 - 2p_2\dot{\theta}^1\dot{\theta}^2 - p_1\dot{\theta}^2{}^2 \right) \quad (1.18)$$

$$\ddot{\theta}^2 = \frac{1-\alpha}{2} \left(-2p_1\dot{\theta}^1\dot{\theta}^2 + (1-2p_2)\dot{\theta}^2{}^2 \right) \quad (1.19)$$

となる。とくに $\alpha = 1$ のとき

$$\ddot{\theta}^1 = 0, \quad \ddot{\theta}^2 = 0 \quad (1.20)$$

である。

証明 $\Gamma_{ij}^{(\alpha)k} = \frac{1-\alpha}{2} A_{ij}^k$ であることより従う。

□

$\alpha \neq 1$ の場合に上の測地線方程式を解くのは難しい(ように思う)。

2 具体例: 正規分布族

例 2.1 (正規分布族). [TODO] ちゃんと書く \mathcal{P} を $X = \mathbb{R}$ 上の正規分布族とし、実現 (V, T, μ) を $V = \mathbb{R}^2$, $T(x) = (x, x^2)$, $\mu = \lambda$ とおく。これは条件 A, B をみたす。真パラメータ空間は $\Theta^{\mathcal{P}} = \mathbb{R} \times \mathbb{R}_{<0}$ である。この実現に関する対数分配関数は

$$\psi(\theta) = \frac{\mu^2}{2\sigma^2} + \log \sigma + \frac{1}{2} \log 2\pi \quad (2.1)$$

である。ただし $\theta^1 = \frac{\mu}{\sigma^2}$, $\theta^2 = -\frac{1}{2\sigma^2}$ とおいた(したがって $\mu = -\frac{\theta^1}{2\theta^2}$, $\sigma = \sqrt{-\frac{1}{2\theta^2}}$)。よって Fisher 計量 $g = \text{Hess } \psi$ を計算すると

$$d\psi = \frac{\mu}{\sigma^2} d\mu + \frac{\sigma^2 - \mu^2}{\sigma^3} d\sigma \quad (2.2)$$

$$= -\frac{\theta^1}{2\theta^2} d\theta^1 + \left(-\frac{1}{2\theta^2} + \frac{(\theta^1)^2}{4(\theta^2)^2} \right) d\theta^2 \quad (2.3)$$

$$\text{Hess } \psi = Dd\psi \quad (2.4)$$

$$= \left(-\frac{1}{2\theta^2} d\theta^1 + \frac{\theta^1}{2(\theta^2)^2} d\theta^2 \right) d\theta^1 + \left(\frac{\theta^1}{2(\theta^2)^2} d\theta^1 + \left(\frac{1}{2(\theta^2)^2} - \frac{(\theta^1)^2}{2(\theta^2)^3} \right) d\theta^2 \right) d\theta^2 \quad (2.5)$$

$$= \frac{1}{\sigma^2} (d\mu)^2 + \frac{2}{\sigma^2} (d\sigma)^2 \quad (2.6)$$

となる。AC テンソルは

$$? \quad (2.7)$$

となる。Levi-Civita 接続 $\nabla^{(g)}$ の、座標 μ, σ に関する接続係数を求めてみる (自然パラメータ座標に関するもの

ではないことに注意)。

$$\Gamma^{(g)}_{11}^1 = 0, \quad \Gamma^{(g)}_{12}^1 = \Gamma^{(g)}_{21}^1 = -\frac{1}{\sigma}, \quad \Gamma^{(g)}_{22}^1 = 0, \quad (2.8)$$

$$\Gamma^{(g)}_{11}^2 = \frac{1}{2\sigma}, \quad \Gamma^{(g)}_{12}^2 = \Gamma^{(g)}_{21}^2 = 0, \quad \Gamma^{(g)}_{22}^2 = -\frac{1}{\sigma} \quad (2.9)$$

測地線の方程式は

$$\begin{cases} x'' - \frac{2}{y}x'y' = 0 \\ y'' + \frac{1}{2y}(x')^2 - \frac{1}{y}(y')^2 = 0 \end{cases} \quad (2.10)$$

である。これを直接解くのは少し大変である。その代わりに、既知の Riemann 多様体との間の等長同型を利用して測地線を求める。 (Θ, g) は、上半平面 H に計量 $\check{g} = \frac{(dx)^2 + (dy)^2}{2y^2}$ を入れた Riemann 多様体との間に等長同型 $(\Theta, g) \rightarrow (H, \check{g}), (x, y) \mapsto (x, \sqrt{2}y)$ を持つ。Levi-Civita 接続に関する測地線は等長同型で保たれるから、 (H, \check{g}) の測地線を求めればよい。 (H, \check{g}) の測地線は、 y 軸に平行な直線と x 軸上に中心を持つ半円で尽くされることが知られている。これらを等長同型で写して、 (Θ, g) の測地線として y 軸に平行な直線と x 軸上に長軸を持つ半楕円が得られる。

今後の予定

- [TODO]

参考文献

[Ama16] Shun-ichi Amari, **Information Geometry and Its Applications**, Applied Mathematical Sciences, vol. 194, Springer Japan, Tokyo, 2016 (en).